

自動車整備・カーボディマスター科(3年次) 自動車整備・トータルマスター科 (3年次)			2024年度 授業計画		
時 期	3年前期	単 元	学 科	教科名	車体整備概論
科 目	車体及び車体の構造	教科書等 持参品	自動車整備技術 車体整備		発行日
			日産車体整備士テキスト		
総時限	23時限			教科 担当	2024年2月27日
必須時限	21時限				上谷 晃一 濱村 和樹
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
車体整備士として車体整備全般の実務経験がある教員により車体の構造と機能について指導する。					
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)					
1. 自動車の主要構造を理解する。 2. 自動車の車体材料を理解する。 3. 自動車の強度、力学の計算方法を理解する。 4. 乗用車の構造、機能を理解する。 5. トラック、バスの構造、機能を理解する。					
3. 授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか)					
1. 自動車の主要構造として、シャシとボデーについて理解する。 2. 自動車の車体の材料で使われている金属材料を理解する。 3. 車体材料の金属熱影響を理解する。 4. 鉄鋼材料の分類と機械的性質を理解する。 5. アルミニウムの分類と機械的性質を理解する。 6. 合成樹脂の共通性と種類を理解する。 7. はりの種類及び支点と反力を理解する。 8. 曲げモーメントとモーメント曲線を理解し自動車の荷重分布の計算方法を理解する。 9. 乗用車の種類・構造と機能を理解する。 10. HV, EV, FCVのボデーを理解する。 11. 儀装品の構造と機能を理解する。 12. トラックの種類、構造と機能を理解する。 13. バス・フレームの構造と機能を理解する。					
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)					
1. 金属材料 2. 自動車の強度力学 3. 車体の構造 左記6項目内より100問出題 4. 乗用車 5. トラック 6. バス ・授業態度点					
5. 準備学習					
・過去2年間で学んだ自動車整備の基礎知識全般を復習しておくこと					

自動車整備・カーボディマスター科(3年次)

自動車整備・トータルマスター科(3年次)

2024年度 授業計画

時 期	3年前期	単元	学科	教科名	車体整備概論	
5. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					6. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	自動車の材料				日産車体整備士テキストP2～3	
2	鋼板の一般的性質				P5～8	
3	車体修理の考え方,車体修理・車体塗装作業の流れ				P46	
4	外板板金作業の概要				P47	
5	〃				P58～62	
6	ひずみの発見				P63～66	
7	板金技法の種類				P67～68	
8	板金ツール				P69～73	
9	変形パネル修正の考え方				P74～76	
10	〃					
11	打ち出し修正				P77～78	
12	〃					
13	引き出し修正				P79～82	
14	〃					
15	損傷状態による板金作業例				P83～84	
16	〃					
17	鋼板の「延びと絞り」				P85～88	
18	〃					
19	パテ				P98～100	
20	サンダー				P101～102	
21	サンドペーパー、その他の機材、清掃・脱脂				P103～105	
22	下地処理作業				P106～119	
23	期末試験					